

本質的な問い わたしたちは、地域とどう関わり、どう生きるのか？

単元名 両城の町を守り隊 ～災害に備える～

児童生徒の実態

- ・地域に関心をもっている児童が多い。
- ・昨年度までに自ら課題を発見し、追究していく経験をしている。
- ・地域のために自分ができることを活動した経験から、さらに地域のために何かをしたいという意欲をもっている。

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・防災の視点からみた地域の特徴や地域を活性化する人々がいることを理解する。（知識・技能）
- ・課題の解決に必要な情報を収集したり整理したりし、相手や目的に応じて、分かりやすく表現する。（思考力・判断力・表現力）
- ・地域との関わりの中で自分にできることを見付けようとする。（主体性）

単元を貫く問い 災害に備えて、地域のために自分たちができることは何だろうか。
【探究課題 「防災のための取組と明るい町づくり」 防災の視点からみた地域の特徴や地域を活性化する人々の取組～防災マップと両城イルミネーションの製作～】

【第3次】（10時間）

課題 災害に備えて、明るい両城の町にするために自分たちができることを発信しよう！

個別の問い

- ・自分たちはどんな地域貢献ができるのだろうか。
- ・考えたアイデアは実現可能だろうか。
- ・地域の人と一緒にできること（イルミネーションづくり等）は何か。 (例) 自治会の掲示板への掲示, ホームページに載せる

全校児童

地域の方

(しかけ)
・自分たちの地域の危険箇所や地域の方の心配なことに気付かせ、自分たちができる取組を考えさせる。

【第2次】（22時間）

課題 防災について地域の実態やニーズを調べて、解決策を考えよう！

個別の問い

- ・実際に歩いて、校区内の危険なところを発見して、ハザードマップと比べられるかな。
- ・両城の町の人々は、防災や避難の際にどんなことに困っているのかな。

地域の方

保護者

(しかけ)
・実際にグループに分かれて調べに行き、写真を撮ったものを共有する。
・地域の方から、両城の町での災害の被害や危険な場所についてのお話を聞く。

地域探検

自主防災会

【第1次】（13時間）

課題 防災って何？

個別の問い

- ・災害にはどんなものがあるのだろう。
- ・災害が起こったら、どう行動すればよいのだろうか。
- ・ハザードマップとは何だろう。

みんなで減災推進課による防災出前講座

地域の方
地域防災訓練

(しかけ)
・昨年度調べた地域の井戸が豪雨災害の時にも役立ったことを想起させる。
・防災出前講座でVR体験等を行い、災害に対する意識を高める。

見直しポイント

探究的な学習の過程に沿った単元構成

①単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか

- ・解決の道筋がすぐには明らかな課題や、一つの正解が存在しない課題となっているか。
- ・児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。

②児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか

- ・活動をこなすだけになっていないか。
- ・児童生徒から問いを生み出すしかけがあるか。
- ・学習したことを表現する場を設定しているか。

③サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか

- ・第1次だけで構成していないか。
- ・第1次のまとめと第2次の課題設定が繋がっているか。